

一筆啓上

作左通信



第二十二号 平成十七年三月二十八日(月) 発行

今、活気に満ちる六西学区！

六ツ美西部小学校が誕生してから早、八年が過ぎようとしています。昨年度、研究発表を催したこともあり、開校から地域と共に創ってきた取り組みを一冊の本にまとめました。発行所は、東京の明治図書からです。本のタイトルは、「地域と共に学び合う学校づくり」。表紙は、学区の特色を表す菜の花色。地域の人たちとかかわっている子どもたちの写

真が表表紙に。裏表紙には、全校の写真が載っています。

内容は、岡崎市教育委員会教育長藤井孝弘先生の発刊のお祝いの言葉から始まり、序章には、本書の監修の愛知教育大学助教授野田敦敬先生による「地域に発信・貢献する特色ある学校づくり」が掲載されています。

第一章は、六ツ美西部小学校が地域と取り組んできた八年間の歩みが。第二章の一

節には、一年生から六年生まで持ち上がった齊藤朋子先生による生活科・総合で育った子どもたちの成長の様子を物語風に。二節には、地域や保護者の人が参加・参画したなのはな学習の取り組みが。第三章には、教科の学習や学芸会、読み聞かせやおやじの会、部活動やクラブ活動、登下校安全に参加する地域ボランティアの方々の活動の様子。第四章には、これからの学校と地域とのかわりが書かれています。サイズはA5版で、やさしい文章で読みやすくなっていますので、ぜひ、皆様方にも読んでいただき、ご意見・ご感想をいただけたらと思っております。注文される方は、六ツ美西部小学校まで、ご連絡下

さい。一冊一九〇〇円です。さて、四月十日(日)に行われる「家康行列」には、「作左の会」の会長永田正男さんが家康役として、また、地域の人たちも家康隊に参列します。さらに、四月二十四日(日)には、現在、開催中の「愛・地球博」にも参加します。今、六ツ美西部学区は、元気いっぱい。この勢いをこれからも続けていきたいものです。



—地域の人による「登下校安全ボランティアの活動—